

麻酔科学講座

Anesthesiology

教授	山崎 光章	Mitsuaki Yamazaki
助教授	広田 弘毅	Koki Hirota
講師	釈永 清志	Kiyoshi Shakunaga
助手	竹林 毅	Takeshi Takebayashi
助手	大江 公晴	Kosei Oe
助手	佐々木利佳	Rika Sasaki
助手	田澤 賢一	Kenichi Tazawa
助手(前)	朝日 丈尚	Takehisa Asahi
助手(前)	鈴木 あや	Aya Suzuki
助手	増田 達	Tohru Masuda
技官	藤森 俊雄	Toshio Fujimori

著 書

- 1) 廣田弘毅：揮発性麻酔薬，静脈麻酔薬はどこに作用するか。「麻酔科診療プラクティス 20 臨床麻酔の疑問に答える生理学」高崎真他編，10-16，文光堂，東京，2006.
- 2) 渋谷伸子，山崎光章：敗血症の病態生理.循環動態と組織酸素代謝。「敗血症の解明と治療戦略」舟田 久編，125-135，医薬ジャーナル社，大阪，2006.

原 著

- 1) Asahi T, Hirota K, Sasaki R, Yamazaki M, Roth SH.: Intravenous anesthetics are more effective than volatile anesthetics on inhibitory pathways in rat hippocampal CA1. *Anesthesia & Analgesia*, 102: 772-778, 2006.
- 2) Yamada M, Hatakeyama N, Malykhina AP, Yamazaki M, Momose Y, Akbarali HL.: The effects of sevoflurane and propofol on QT interval and heterologously expressed human Ether-A-Go-Go related gene currents in xenopus oocytes. *Anesthesia & Analgesia*, 102: 98-103, 2006.
- 3) Ibarrola DA, Del Carmen Hellion-Ibarrola M, Alvarenga NL, Ferro EA, Hatakeyama N, Shibuya N, Yamazaki M, Momose Y, Yamamura S, Tsuchida K.: Cardiovascular Action of Nuatigenosido from *Solanum sisymbriifolium*. *Pharmaceutical Biology*, 44: 378-381, 2006.
- 4) 渋谷伸子，奥寺 敬，釈永清志，畠山 登，山崎光章：ICU におけるデクスメトミジン使用時の鎮静効果と循環変動。ICU と CCU，30：963-969，2006。

症例報告

- 1) 長谷川和彦，畠山 登，朝日丈尚，大江公晴，山崎光章：精神症状が顕著となった複数部位発生の CRPS type の治療に電気痙攣療法を施行した 1 例。日本ペインクリニック学会誌，13：136-141，2006。

総 説

- 1) 廣田弘毅：海馬シナプス伝達に及ぼす全身麻酔薬の作用。麻酔，55：S145-S152，2006。
- 2) 廣田弘毅，山崎光章，栗本昌紀：症例検討「Awake craniotomy と麻酔管理」：あらゆる危機的状況に対応できる skill，手術室の司令塔としての資質が試される。Lisa，13：678-681，2006.
- 3) 塚田一博，澤田成朗，田澤賢一，魚谷英之，廣川慎一郎：脾縫合術。「卒後 5 年でマスターする消化器標準手術」桑野博之編，324-329，メデカルビュー社，東京，2006。

学会報告

- 1) 瀧川章子，朝日丈尚，竹林 毅，畠山 登，山崎光章：全身麻酔下智歯抜歯術後に生じた皮下気腫の 1 症例。日本麻酔科学会東海・北陸支部第 2 回学術集会，2006，2，安城市。
- 2) 青木優太，釈永清志，朝日丈尚，佐々木利佳，村花準一，畠山 登，山崎光章：stiff-person syndrome に対する麻酔

経験．日本麻酔科学会東海・北陸支部第2回学術集会，2006，2，安城市．

- 3) 柳田聖実，成田 年，中島真弓，葛巻直子，山崎光章，鈴木 勉：疼痛制御機構に関する研究（第53報）神経障害性疼痛による不安感受性亢進に対する三環系抗うつ薬の影響．第35回日本慢性疼痛学会，2006，2，東京．
- 4) 渋谷伸子，杉木 実，奥寺 敬，釈永清志，山崎光章：当院におけるデクスメトミジン使用時の循環変動．第33回日本集中治療医学会学術集会，2006，3，大阪．
- 5) Hatakeyama N., Shibuya N., Yamada M., Fujimori T., Yamazaki M.: Effects of sevoflurane and lidocaine on capsaicin induced current in rat single dorsal root ganglion neuron. IARS 80th Clinical & Scientific Congress, 2006, 3, San Francisco, California.
- 6) 湯口 卓，山岸文範，福田啓之，田澤賢一，堀川直樹，塚田一博：進行胃癌に対する術前化学療法と術中局所動注化学療法の併用-最近の試み-．第78回日本胃癌学会，2006，3，大阪．
- 7) 吉野友康，山岸文範，福田啓之，高田全希，田澤賢一，湯口 卓，堀川直樹，塚田一博：高度進行胃癌に対するTS-1+Docetaxel併用療法の検討．第78回日本胃癌学会，2006，3，大阪．
- 8) 田澤賢一，松井恒志，森田誠市，吉田 徹，新保雅宏，吉野友康，湯口 卓，山岸文範，塚田一博：幽門狭窄を呈した切除不能進行胃癌に対しバイパス術後，ステント留置後S-1療法を施行した2例．第13回日本乳癌学会総会，2006，3，大阪．
- 9) 山岸文範，長田拓哉，吉野友康，山崎一磨，大西康晴，堀川直樹，湯口 卓，田澤賢一，吉野友康，福田啓之，廣川慎一郎，塚田一博：進行胃癌に対する術前化学療法+循環下における術中局所動注療法．第106回日本外科学会定期学術集会，2006，3，東京．
- 10) 田澤賢一，堀川直樹，長田拓哉，山崎一磨，坂東 正，山岸文範，廣川慎一郎，塚田一博：肝疾患に対する外科的治療後に発症した高アミラーゼ血症の検討．第18回日本肝胆膵外科関連会議，2006，5，東京．
- 11) 堀川直樹，山岸文範，福田啓之，吉野友康，田澤賢一，湯口 卓，大西康晴，長田拓哉，山崎一磨，廣川慎一郎，塚田一博：多剤併用化学療法後に切除し得た胆管細胞癌の1例．第18回日本肝胆膵外科関連会議，2006，5，東京．
- 12) 長田拓哉，山岸文範，田澤賢一，坂東 正，山崎一磨，塚田一博：非B非C型肝細胞癌手術症例の検討．第18回日本肝胆膵外科関連会議，2006，5，東京．
- 13) 釈永清志，村花準一，朝日丈尚，渋谷伸子，山崎光章：下肢虚血再灌流における凝固系マーカーの経時変化に対する麻酔方法の影響．日本麻酔科学会第53回学術集，2006，6，神戸．
- 14) 畠山 登，山田正名，渋谷伸子，荒井理歩，百瀬弥寿徳，山崎光章：ラット単離脊髄後根神経節細胞におけるカプサイシン誘発電流に対するセボフルランとプロポフォールの影響．日本麻酔科学会第53回学術集会，2006，6，神戸．
- 15) 山田正名，畠山 登，渋谷伸子，山崎光章，百瀬弥寿徳：モルモット単離心房筋を用いたイソフルランおよびプロポフォールによるQT間隔変化についての電気生理学的検討．日本麻酔科学会第53回学術集会，2006，6，神戸．
- 16) 佐々木利佳，廣田弘毅，朝日丈尚，山崎光章：加齢による麻酔作用修飾メカニズムの検討．日本麻酔科学会第53回学術集会，2006，6，神戸．
- 17) 廣田弘毅：海馬シナプス伝達に及ぼす全身麻酔薬の作用．日本麻酔科学会第53回学術集会，2006，6，神戸．
- 18) Sasaki R., Hirota K., Asahi T., Yamazaki M.: Age-related modification on the effects of general anesthetics in rat hippocampal CA1. 5th Forum European Neuroscience, 2006, 7, Vienna, Austria.
- 19) Hirota K., Sasaki R., Asahi T., Yamazaki M.: General anesthetics produce stimulus-dependent modification of synaptic transmission in the hippocampal CA1 in vitro. 5th Forum European Neuroscience, 2006, 7, Vienna, Austria.
- 20) 柳田聖実，成田 年，中島真弓，中邨篤史，葛巻直子，山崎光章，鈴木 勉：疼痛制御機構に関する研究（第55報）：慢性疼痛および不安感受性亢進に対するトラマドールの治療効果．日本ペインクリニック学会第40回大会，2006，7，神戸．
- 21) 田澤賢一，松井恒志，新保雅宏，山岸文範，塚田一博：乳癌手術におけるドレーン留置期間を決定するための諸因子の検討．第14回日本乳癌学会総会，2006，7，金沢．
- 22) 長田拓哉，田澤賢一，松井恒志，島多勝夫，清水哲朗，塚田一博：非浸潤性乳管癌(DCIS)の診断と治療に関する検討．第14回日本乳癌学会総会，2006，7，金沢．
- 23) 松井恒志，田澤賢一，長田拓哉，山岸文範，塚田一博：乳腺アポクリン癌の5例の検討．第14回日本乳癌学会総会，2006，7，金沢．
- 24) 田澤賢一，吉野友康，湯口 卓，大西康晴，堀川直樹，長田拓哉，山崎一磨，廣川慎一郎，山岸文範，塚田一博：米国NCCNの診療ガイドラインにおけるGISTリスク分類の臨床病理学的検討．第61回日本消化器外科学会総会，2006，7，横浜．

- 25) 大西康晴, 山崎一磨, 長田拓哉, 福田啓之, 吉野友康, 湯口 卓, 田澤賢一, 堀川直樹, 山岸文範, 塚田一博: 大腸穿孔症例の検討. 第 61 回日本消化器外科学会総会, 2006, 7, 横浜.
- 26) 長田拓哉, 大西康晴, 田澤賢一, 堀川直樹, 山岸文範, 吉野友康, 湯口 卓, 廣川慎一郎, 福田啓之, 塚田一博: 肝細胞癌切除術後における予防的肝動注化学療法 of 検討. 第 61 回日本消化器外科学会総会, 2006, 7, 横浜.
- 27) 堀川直樹, 長田拓哉, 福田啓之, 吉野友康, 湯口 卓, 田澤賢一, 大西康晴, 山崎一磨, 山岸文範, 塚田一博: 肝細胞癌術後死亡症例の検討. 第 61 回日本消化器外科学会総会, 2006, 7, 横浜.
- 28) 松井恒志, 田澤賢一, 吉野友康, 山岸文範, 塚田一博: 転移性小腸腫瘍 8 例の検討. 第 61 回日本消化器外科学会総会, 2006, 7, 横浜.
- 29) 山岸文範, 湯口 卓, 吉野友康, 山崎一磨, 福田啓之, 長田拓哉, 大西康晴, 堀川直樹, 田澤賢一, 塚田一博: TS-1with/without TXT による術前化学療法の有効性と副作用. 第 61 回日本消化器外科学会総会, 2006, 7, 横浜.
- 30) 山崎一磨, 長田拓哉, 大西康晴, 福田啓之, 吉野友康, 湯口 卓, 田澤賢一, 堀川直樹, 山岸文範, 塚田一博: 大腸癌肝転移に対する予後因子の検討. 第 61 回日本消化器外科学会総会, 2006, 7, 横浜.
- 31) 渡邊智子, 笹原孝太郎, 田澤賢一, 湯口 卓, 堀川直樹, 大西康晴, 長田拓哉, 廣川慎一郎, 山岸文範, 塚田一博: 術後感染予防抗菌薬の長期無変更と感染予防薬耐性菌の出現についての検討. 第 61 回日本消化器外科学会総会, 2006, 7, 横浜.
- 32) 田澤賢一, 沼 哲之, 長田拓哉, 山本 優, 大村哲也, 大澤宗士, 土屋康紀, 福田啓之, 澤田成朗, 湯口 卓, 大西康晴, 堀川直樹, 廣川慎一郎, 山岸文範, 塚田一博: FEC100 が奏効した浸潤性小葉癌の 1 例. 第 17 回北陸臨床腫瘍研究会, 2006, 7, 富山.
- 33) 広田弘毅, 佐々木利佳, 朝日丈尚, 山崎光章: 海馬シナプス伝達に及ぼす静脈麻酔薬・揮発性麻酔薬の作用. 第 23 回麻酔メカニズム研究会, 2006, 8, 大阪.
- 34) 竹村佳記, 高木麻里, 神谷和男, 朝日丈尚, 南 雅美, 徳竹美紀, 岸 理歩, 吉田 仁: 術後の感染予防に向けて 手術の際の抗生物質投与に関するアンケート調査. 日本麻酔科学会東海・北陸支部第 3 回学術集会, 2006, 9, 富山.
- 35) 長谷川亮子, 積永清志, 青木優太, 村花準一, 竹林 毅, 畠山 登, 山崎光章: Klinefelter syndrome に合併した巨大縦隔腫瘍摘出術の麻酔経験. 日本麻酔科学会東海・北陸支部第 3 回学術集会, 2006, 9, 富山.
- 36) 広田弘毅, 広羽可奈呼, 青木優太, 山崎光章: ラリンジアルマスクをガイドとしたファイバースコープ挿管のコツ. 第 3 回日本麻酔科学会東海・北陸地方会, 2006, 9, 富山.
- 37) 畠山 登, 松田直之, 山崎光章, 服部裕一: 敗血症モルモット単離心房筋細胞の電気生理学的検討. 第 57 回日本薬理学会北部会, 2006, 9, 弘前.
- 38) 積永清志: 文献レビュー「小児心臓麻酔に関する話題」, 第 11 回日本心臓血管麻酔学会学術大会, 2006, 9, 長崎.
- 39) 神谷和男, 朝日丈尚, 徳竹美紀, 岸 理歩: 当院における腹部大動脈瘤手術症例の検討. 第 11 回日本心臓血管麻酔学会学術大会, 2006, 9, 長崎.
- 40) Hatakeyama N., Yamada M., Momose Y., Fujimori T., Yamazaki M.: Effects of sevoflurane and Propofol on TRPV1 current in rat single dorsal root ganglion neuron. The 2006 ASA Annual Meeting, 2006, 10, Chicago, Illinois.
- 41) Matsuda N., Yamazaki M., Hattori Y.: Reversal effects of fluvastatin on akt activity in the mesenteric artery of septic rabbits. The 2006 ASA Annual Meeting, 2006, 10, Chicago, Illinois.
- 42) Matsuda N., Yamazaki M., Hattori Y.: Pro-apoptotic gene silencing in septic mouse aorta by small interfering RNA. The 2006 ASA Annual Meeting, 2006, 10, Chicago, Illinois.
- 43) 積永清志, 青木優太, 村花準一, 中丸勝人, 渋谷伸子, 山崎光章: 人工膝関節置換術の下肢虚血再灌流における凝固系マーカーの解析. -麻酔方法による比較 (第 3 報)-. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006, 10, 旭川.
- 44) 高木麻里, 神谷和男, 吉田 仁, 竹村佳記, 南 雅美, 岸 理歩, 徳竹美紀, 朝日丈尚: 当院における腹部大動脈瘤手術に対する麻酔管理の変遷. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006, 10, 旭川.
- 45) 長谷川悦代, 佐々木利佳, 廣田弘毅, 山崎光章: ランジオロールが奏効した巨大膀胱褐色細胞腫の麻酔経験. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006, 10, 旭川.
- 46) 山口由明, 畠山 登, 廣田弘毅, 山崎光章: 麻酔科研修中に経験した術中冠動脈攣縮が疑われた 2 症例. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006, 10, 旭川.
- 47) 竹村佳記, 高木麻里, 神谷和男, 朝日丈尚, 南 雅美, 徳竹美紀, 岸 理歩, 吉田 仁: 術後の感染予防に向けて 手術の際の抗生物質投与に関するアンケート調査. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006, 10, 旭川.
- 48) 青木優太: 先天性外胚葉異形成症の麻酔経験. 日本臨床麻酔学会第 26 回大会, 2006, 10, 旭川.
- 49) 田澤賢一, 長田拓哉, 中西ゆう子, 長 誠司, 土屋康紀, 福田啓之, 澤田成朗, 湯口 卓, 堀川直樹, 魚谷英之,

山岸文範，廣川慎一郎，塚田一博：乳癌検診フォロー中に経時的に MMG の変化を追認し得た非浸潤性乳管癌の 1 例．第 15 回富山乳腺疾患勉強会，2006，10，富山．

- 50) 田澤賢一，山口哲司，大澤宗士，土屋康紀，澤田成朗，湯口 卓，堀川直樹，廣川慎一郎，山岸文範，塚田一博：術後の CMV 感染，細菌感染を発症した皮膚筋炎に併発した多発癌（早期胃癌 + 盲腸癌 + 回盲部原発悪性リンパ腫）の 1 例．第 19 回日本外科感染症学会総会，2006，11，長岡．
- 51) 土屋康紀，田澤賢一，吉岡伊作，堀川直樹，長田拓哉，廣川慎一郎，山岸文範，塚田一博：胃十二指腸動脈の完全断裂と思われた外傷性脾断裂の 1 例．第 68 回日本臨床外科学会総会，2006，11，広島．
- 52) 畠山 登，木本久子，山崎光章，越塚康司，荒川誠志：SPD・外部委託導入による手術部業務の変化．第 28 回日本手術医学会総会，2006，11，大阪．

その他

- 1) 山崎光章：手術待ち解消をマイ・オピニオン～どうする地域医療．北日本新聞，2006 年 1 月 27 日掲載．
- 2) 釈永清志：文献レビュー 2005 「1. 心臓麻酔に関する話題」．Cardiovascular Anesthesia，10：65-68，2006．
- 3) 広田弘毅：気道管理，異物への対応．講師養成のための自動体外式除細動器（AED）講習．2006，8，富山．